

未使用ハガキや切手、未使用プリペイドカード、商品券など

あなたのタンス遺産で、 世界に学ぶよろこびを。

世界には、戦争や紛争、貧困、差別、コロナ禍などの
様々な原因で学びの場を奪われた人びとがいます。

「ユネスコ世界寺子屋運動」は、ハガキや切手などを募金にかえ、
こうした国・地域で学びの場を広げていく運動です。

現在はアフガニスタン、ネパール、カンボジア、ミャンマーの
4カ国の寺子屋で、人びとが明日を生きる力を育んでいます。

うっかり書きそんじてしまったり、余らせたハガキや、
使っていない切手、商品券、プリペイドカードなど。
ご家庭にタンス遺産が眠っていたら、ぜひお送りください。
希望のある世界を築くために、あなたの1枚が力になります。
ご協力をよろしくお願いいたします。

※アフガニスタンとミャンマーでは、現地の情勢により活動休止中です。
再開に向けては現地関係者との協議をふまえ、対応予定です。

※下記は1ドル140円計算です。



カンボジアでは、ハガキ14枚で
ひとりがひと月学校に通えます



ネパールでは、ハガキ1枚で
鉛筆4本になります



アフガニスタンでは
ハガキ1枚でノート1冊になります



「きぼう」ってどうかくの？

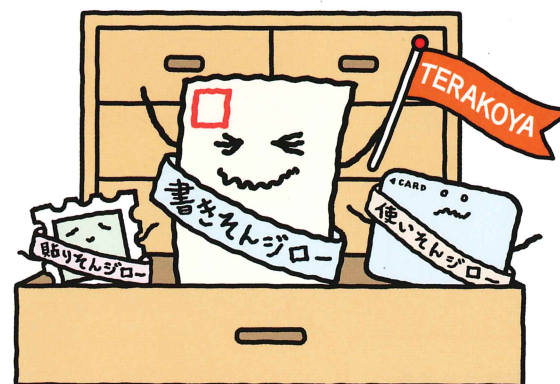
～文字を書けることが希望となる～

十一枚の書き損じハガキで
一人の子供が一月学校に通えます



2021年度リーフレットコンテスト最優秀賞 北鎌倉女子学園高等学校 増田碧さんの作品です
(ハガキ枚数は2021年現在)

ユネスコ世界寺子屋運動



ハガキや切手
プリペイドカードなどを
お送りください！

タンス遺産3兄弟キャラクター
©DENTSU INC.

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





学校に通えない子ども
約1億2400万人
(6～14歳)

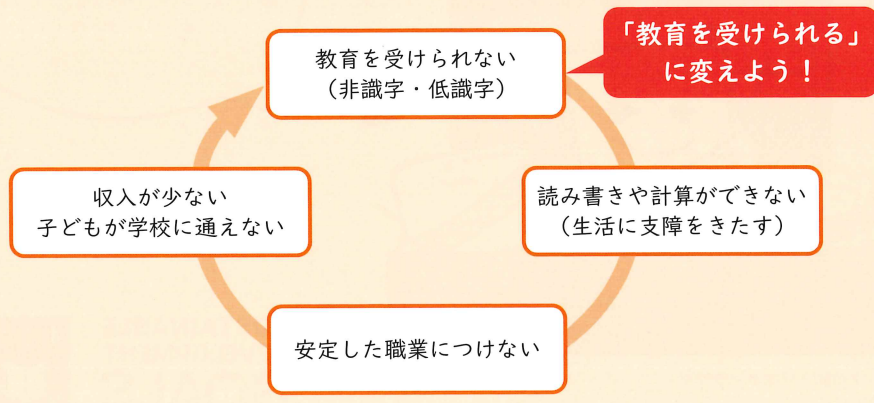
世界が抱える教育問題

読み書きのできない大人
約7億7300万人



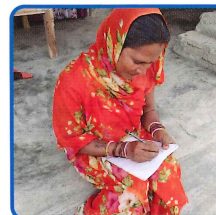
出典 (UNESCO グローバル教育モニタリングレポート2021/2)

貧困のサイクルを断ち切るために



きょういくで、あしたへいく。

寺子屋で学んだ生徒の声を紹介します



私は文字が読めず、携帯電話を使えませんでした。
寺子屋で学び、自分や家族の名前や住む村の名前が読み
書きできるようになりました。電話の使い方も教わり、家族
と話ができるのが大きな喜びです。

インドラワティさん (ネパール・ルンビニ地区寺子屋生徒)



母が病気になったので学校をやめ、朝から農場で働いてい
ます。仕事の後に通える寺子屋クラスでは、教科書や文具
の支援も受けられ、楽しく通っています。将来は先生になり
たいので、夢を叶えるため一生懸命勉強を続けます。

レン・サラ君 (カンボジア・ボベル寺子屋 小学校クラス)

世界寺子屋運動とは、発展途上国の貧しい地域に学びの場「寺子屋」を
作り、読み書きや技術を学べるよう応援する活動です。
これまでに、44カ国1地域で、約135万人が学ぶことができました。

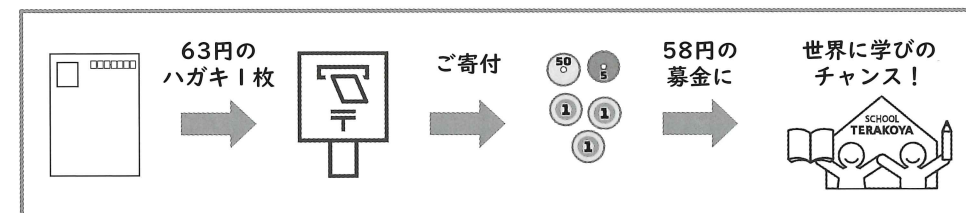
世界寺子屋運動について



30秒紹介動画 (YouTube)



***** 書きそんじハガキの流れ ***** ※ハガキ交換手数料は2022年12月現在です



地域のユネスコ協会
または右の住所にお寄せください

(公社)日本ユネスコ協会連盟は、「個人情報の保護に
関する法律」及び関連する法令を遵守し細心の注意
をはらって個人情報の保護に努めています。

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12F
公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟CP係